(一)

拝啓仕候 益々御清祥大賀之至
ニ奉存候 然れば ニウヨルク市ニ滞留致
候事十二日ニして当地ニ立越候処
昨日より会見は相始まり候も正式の
談判は本日よりにて候 去る五日以来
世界各国の新聞記者と交際仕
居候処 殊に此の点ニては新聞記者
の戦争ニ有之候 敵はノヴオ、ヴレミア
を始め ウヰッテの機関たる スロウオ
其他沢山ニ参り居り之ニ加ふるニ
佛国記者抔も記者は本邦記者有
之 亜米利加の中ニも露国贔屓少か
らず 殊ニ当ホテルニ参り居てより

(二)

ぬニ露西亜ニ贔屓致し居り候も不少
然るに我日本の記者は小生の外ニは
僅ニ国民時事の二人のみ 他ニ特色
の通信員参り居り候へども ポーツ
マウスの名もおれざる宿屋の一隅ニ
屏息致し 大使と同宿致し日本人は
唯三人ニ有之 心細く存申候 昨日より
杉本君年とやす旧友参り候れも
又わらふノハイカラすは候へども 杉本も
山の猿ひとやすことを有し 然も御多
忙なる候ノ 右も有之候故 小生の
不平は大ノ援助を得候心地致
し候 私家の事共も日本人佐藤

(二)

HOTEL WENTWORTH
NEW CASTLE, N.H.
HARVEY & WOOD.

色々露出世々変化致しかも不少
拙ふに我日本の紀者は小生の外すな
僅々国民時事の二人のみ他々数名
の通信員参り居りしとぞも紫ゝポウツ
マウスの名もおれざる家庭の一隅に
屏息陣大使と同宿陣日本人は
唯三人に有之心細く存ゆれ昨日より
松本君年とやすい友参り彼れも
同あらノハイカラすはしくとも枯木も
山の賊ひとやすことなし兎も角も
通信員ノ有れ有之以故小生の
あるは至大ノ援助を得れ心地陣
拙ふに秘密のもの共も日本人雑蔵
の風有之宮ナキヲ口実として松本を

(三)

HOTEL WENTWORTH
NEW CASTLE, N.H.
HARVEY & WOOD.

近ひ揚はんと陣ふ故小生の宮に入れ立
ゆれ以一笑ならん
昨日の初対見に於て小村外務が信任状
を携へずウ井学は之を示しなるに日本
委員之を忘れたりとて喜々陣ふ故小生
一筆の文を作て敵の中堅なるニウヨル久へ
ラルドに選へゆれ露国スロウオ法若と
並べて出しゆ高觀を免しゆれ英国の
小泉通信員モリソンは閣下に曾て以前
論の業を持ちとて起ひ長中彼れ
も参り長ゆれ先ら御貴ふ御失
ハ月十日 ウエントウオルス旅館に於て 石川安平印
大隈伯爵閣下